

道路通行時「人」優先モデル地区

長尾地区まちづくり協議会
防災・防犯部会

長尾地区まちづくり協議会

長尾小学校

長尾南小学校

丸橋小学校

3小学校校区が活動区域

長尾地区まちづくり協議会 部会

- 福祉・健康部会
- 花緑・環境部会
- 青少年部会
- 広報部会
- 防災・防犯部会
- ひろばふれあい部会

長尾地区まちづくり協議会 防災防犯部会発足

長尾地区まちづくり協議会防災防犯部会は、阪神淡路大震災の教訓から、地域に特化した避難所運営の手引書を作成し、地域住民参加による継続的な、避難所運営訓練を行うことで、災害時対応の重要性を啓発し、人材育成を図ることを目的として平成22年度発足しました。

発足時の部会員職歴は、・宝塚市第5地区自治会連合会役員・宝塚市第5地区民生児童委員協議会役員・地域各種団体役員・防災士・陸上自衛隊元幹部・宝塚市市議会議員

避難所運営マニュアル作成のための人材の確保を行い、元消防本部長や組織動員力のある各種団体役員、パソコン等編集担当なども含めて作成に当たりました。

避難所運営マニュアル作成

平成24年3月長尾地区「避難所運営マニュアル」作成

平成25年3月「長尾地区避難所運営委員会行動マニュアル」作成

平成26年12月「長尾地区避難所運営委員会活動班員のための

ハンドブック」 作成

平成28年4月「避難所開設訓練手順書」作成

平成27年1月宝塚市「避難所運営マニュアル」編集

平成27年5月「長尾地区避難所運営委員会行動マニュアル改訂版」作成

防災防犯部会発足・避難所開設訓練



第6次宝塚市総合 わたしの舞台はたからづか 2021-2030

めざすまちの姿

第6次宝塚市総合計画ってどんな計画

めざすまちの姿

まちづくりの視点などを踏まえ、10年後のめざすまちの姿を定めます。この6つのめざすまちの姿を実現するために、市民と行政で共にまちづくりを進めていきます。

6つのめざすまちの姿

5つの分野に共通するめざすまちの姿

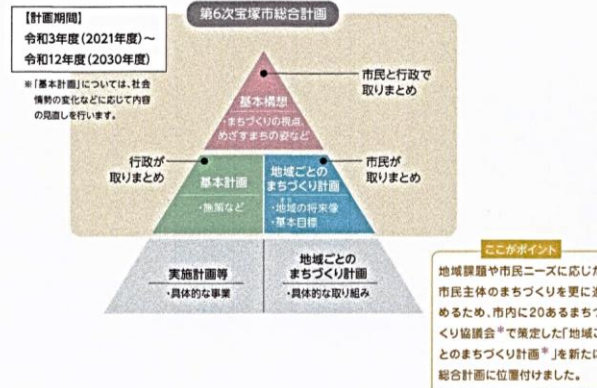


第6次宝塚市総合計画ってどんな計画？

総合計画とは

総合計画は、総合的かつ計画的にまちづくりを推進するための計画であり、市民と行政によるまちづくりの方向性を示すものです。また、本市が定める計画の最上位に位置付けられるものです。

【総合計画の構成と期間】



【計画策定の経過】



※まちづくり協議会

おおむね小学校区をエリアとして、自治会を中核に、地域内の各種団体やグループなど、あらゆる人たちの連携を図りながらまちづくり活動を推進する組織。本市において、平成3年(1991年)から順次発足し、平成11年(1999年)に市内全域で組織化が完了。

※地域ごとのまちづくり計画

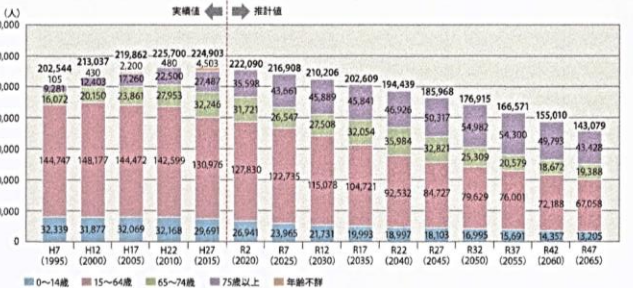
市内に20あるすべてのまちづくり協議会において、市民らが地域の現状や課題、ニーズを踏まえ、将来像を共有しながら、目標や具体的な取組等を取りまとめています。

計画策定の背景

人口減少・少子高齢化

本市の人口は、平成27年(2015年)国勢調査で減少に転じ、大きな転換点を迎えました。人口減少や少子高齢化が進行すると、税収の減少や社会保障関連費用の増加が見込まれ、財政状況はより一層厳しさを増していくため、これまでの市民サービスの維持が困難となるおそれがあります。

【本市の年齢区分別人口の推移】



SDGsの取組の広がり

国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現のため、世界各国で取組が進められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

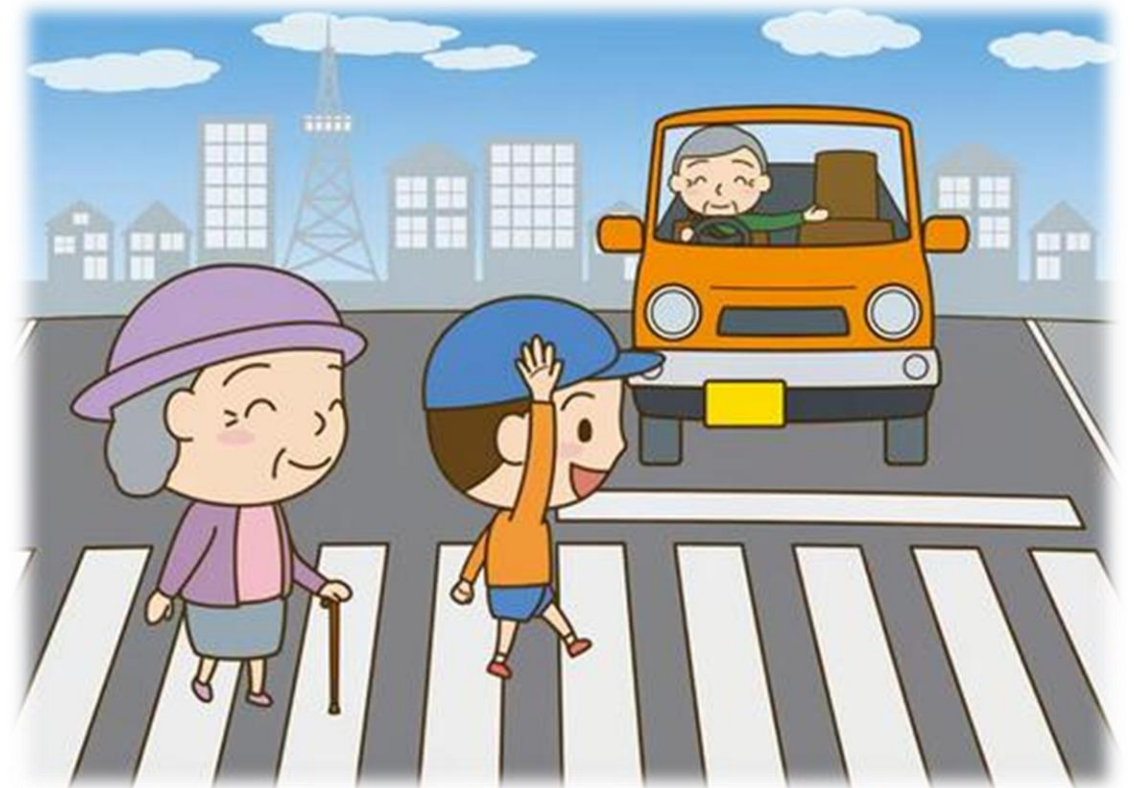


【地域(まち)の将来像】

「緑と夢と人」次世代につなげるまち・長尾

【具体的な取り組み】

道路通行時の“人”
優先モデル地区への
啓発運動を促進する



横断歩道における歩行者優先

車両には「横断歩道における歩行者優先」が定められています。

道路交通法第38条によれば、横断歩道を横断しようとする歩行者があるときは、手前で一時停止し、かつ、その横断を妨げないようにしなければなりません。

ところが、信号機のない横断歩道を人が渡ろうとしているのに、車を一時停止させるドライバーは全国平均21.3%。兵庫県は57.1%で長野県に次いで全国2番ですが、約4割は一時停止していません。

(2020年8月JAF調査)



横断歩道歩行者優先マーク

長尾地区まちづくり協議会では「道路歩行時の人優先モデル地区」の取組として、「歩行者優先マーク」を作成しました。

車両の後方に「歩行者優先マーク」を貼り、後方車両に歩行者優先を認識していただくとともに、歩行者がいる場合には横断歩道手前で一時停止することを意識していただき安全を確保する運動を展開します。



道路通行時「人」優先モデル地区の取組として、「歩行者優先マーク」による啓発活動を、他のまちづくり協議会の皆さんと連携して実施したいと考えています。

安心・安全なまちづくりのため、是非一緒に啓発活動をしましょう。

マグネットシールの購入の希望有無や購入枚数について、8月末までに別添の調査票でお知らせください。

長尾地区まちづくり協議会で一括発注します（希望枚数分の購入費用は、各まち協に負担していただきます。）

※ イメージ画像



“人”優先モデル地区啓蒙活動

- 長尾地区まちづくり協議会会員が率先して“人”優先の安全運転を実施します。
- 宝塚警察署、宝塚交通安全協会、宝塚市役所、管内小・中学校、幼稚園、保育所などに実施内容を説明し理解と協力を依頼します。



御 見 積 書

横断歩道 “人” 優先ステッカー製作費

数量1,000枚の場合 単価190円(税抜き)

数量2,000枚の場合 単価180円(税抜き)

溶剤インクジェット 塩ビ糊付+表面塩ビラミ(グロス)+0.8ミリ



“人”優先モデル 地区の目指すもの

長尾地区から交通安全のための人優先モデルを率先して実践することで、車両が横断歩道手前で普通に一時停止し、歩行者も安心して横断できるような交通安全都市を目指します。皆様もご協力ください。